Ｎｏ．１０－１

# 一　般　質　問　通　告　書

令和　８年１１月　９日

議 会 議 長　　様

議席番号　　５　　番

議員氏名　　北　出　惠　造

| 質 問 事 項 | 質　　問　　要　　旨 | 指 定 答 弁 者 |
|---|---|---|
| １．豪雨災害から住民の生命と財産を守るために | 気候危機の深刻化により、世界的な異常気象や大規模な災害が頻発している。当町においては利根川や江戸川などの氾濫等による災害が心配される。そこで以下伺う。<br>（１）風水害に対する警戒・準備のタイムラインの概要を明らかに。<br>（２）以下の各種施策の整備状況を明らかに。<br>①防災無線を受信できる防災ラジオを全世帯に貸与・設置すること。<br>②避難所の開設や運営にあたっては、内閣府が２０１６年に発表した「避難所運営ガイドライン」や、国際的な人道支援の最低基準である「スフィア基準」を遵守した対応がとれるようにすること。また、避難所運営に従事する女性職員の割合を５０％程度に引き上げるなど、女性の視点を取り入れた避難所や自主防災組織の運営を推進すること。<br>③豪雨災害から住民を守るための広域避難計画を策定し、利根川や江戸川等が氾濫した際に住民が迅速で適切な避難行動をとれるよう、町民へのより具体的で確実な情報の発信と周知の徹底を図ること。<br>④ハザードマップは、色覚多様性者が容易に判別できるような色分けに改善すること。<br>⑤ハザードマップに基づいた「想定浸水深」の表示を町内のあらゆる箇所に設置すること。 | 町長<br>副町長<br>危機管理課長<br>担当課長 |

１１月　９日　午前１０時４０分 受理

| 質問事項 | 質　　問　　要　　旨 | 指定答弁者 |
|---|---|---|
| | ⑥民間商業施設の協力も得ながら、避難所の増設を進め、避難所の機能と体制の強化（配置職員の増強等）を図ること。<br>（３）当町における風水害に対しての防災訓練の実施が求められるが、見解は。 | |
| ２．杉戸町ゼロカーボンシティ宣言の実行強化を | 深刻化する気候危機により、地球気候の転換点（ティッピングポイント）を超える前に、温暖化等を抑制することが求められている。<br>当町では、２０２４年４月にゼロカーボンシティ宣言を行ったが、同宣言の実行性ある施策が求められている。<br>そこで以下伺う。<br>（１）当町のＣＯ２の削減計画と成果を明らかに。<br>（２）当町の省エネ対策の成果を明らかに。<br>（３）猛暑対策として、住宅における断熱化促進のための住宅リフォームは有効である。昨年度から設けられた住宅リフォーム補助予算の増額が求められるが、見解は。<br>（４）同様に、各家庭における空調機などの省エネ家電の購入費補助は、町民の健康維持、物価高における家計援助などいくつもの利点がある。補助制度の創設が求められるが、見解は。 | 町長<br>副町長<br>環境課長<br>建築課長<br>総合政策課長<br>担当課長 |